

神奈川県
議会議員
石川ひろのり

県議会レポート 2024 特別号



住み続けたい街
麻生区のために

石川ひろのり事務所
〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933



本当に神奈川は住みやすいのか
あなたの納めた税金を
「生まれて・育って・住んで良かった」
誇りある神奈川に。
今日より明日はきっといいことがある。
住み続けたい神奈川を目指して。

「カスタマーハラスメント防止に向けた支援の 必要性について」など代表質問にて質疑

県の人口ビジョンと出生率向上 に向けた施策について

石川 6月5日、国が発表した2023年の人口動態統計によると、合計特殊出生率（女性一人が生涯に産む子どもの推定人数）は過去最低の1.20となった。特に神奈川県は1.13で、前年より低下し過去最低となった。2015年度に策定された「神奈川県人口ビジョン」では、人口減少や超高齢社会への対策が示されており、合計特殊出生率を人口置換水準の2.07に引き上げることが目標とされている。若者の結婚や子育ての支援、雇用環境の改善、子育て環境の整備などが進められてきたが**県内の出生率は減少し続けている。これまでの取り組みの効果測定と原因分析が必要と考える。**

知事 県は「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、出生率向上に関する取り組みとともに、目指すべき出生率も目標に掲げ、**毎年度達成状況を把握し政策改善を図っているが出生率は低下傾向にある。**複合的な要因として、出産や育児、経済的負担、仕事との両立の不安、地域コミュニティの希薄化などが挙げられる。**結婚、出産、子育てを社会全体で支える支援策が不可欠**である。そこで「子どもを生むなら神奈川、子育てするなら神奈川」をキーワードに、県民や企業と協力し出生率の向上を目指していく。

石川 2027年に合計特殊出生率を1.42、2050年には2.07に引き上げる目標について、**どのように達成するのか。**

知事 現在、2027年度に合計特殊出生率を1.42にすることを目標としている。今後、国から示される最新の人口データを踏まえ、今年度中に人口ビジョンを改訂する予定である。その作業の中で、改めて今後の目標についても検討していく。

石川 当初の人口ビジョンでは、2025年に合計特殊出生率を1.42とする指標が示されていた。しかし、計画目標は2027年に先延ばしされていた。このままでは、目標がさらに先延ばしされるか、目標数値が下げられるのではないかと危惧している。**今後の具体的な施策について、しっかりと効果測定を進めることを求める。**

カスタマーハラスメント（カスハラ）防止に向けた支援の必要性について

石川 近年、顧客からの理不尽な要求によるカスタマーハラスメント（カスハラ）が増加しており、国は労働施策推進法を改正し、企業に対して従業員を守るための対策を義務づ



ける方向で検討を進めている。今回の質問に際し、製造・流通・総合サービス産業を中心に185万人が所属するUAゼンセンから話を伺った。先日発表されたアンケート結果では、210組合から33,133件の回答があり、そのうち46.8%が「直近2年以内に迷惑行為被害にあった」と回答している。また、「あなたの企業で実施されている迷惑行為への対策」に関する質問では、「特に対策はなされていない」という回答が42.2%で最多となっており、被害者へのケアも非常に低い数値にとどまっている。**カスハラは労働者や企業にとって深刻な問題である。**企業などから現状を聞き取り、県として全体像を把握するとともに、カスハラに対する啓発活動をさらに強化するなど、**産業別や現状に即した対応策を検討する必要があると考える。**

知事 カスハラは労働者の就業環境を害するものであり、県としても状況を把握し、どのような対策が有効なのかをしっかりと考えていく必要がある。そこで、**県では事業者や組合などにヒアリングを行い、カスハラの実態をしっかりと把握するとともに、国や労働組合などが実施しているカスハラに関する調査を分析していく。また、労働組合等と調整の上、できるだけ早期にカスハラの実態についてヒアリングを行っていく。**

教職員の不祥事対策

石川 令和5年度、神奈川県の教職員に対する懲戒処分が18人に上り、そのうち性犯罪・性暴力に関わる処分者が11人と最多を占めている。この状況は教育現場の信頼を大きく揺るがし、多くの教職員が真摯に職務に取り組む中で、一部の不適切な行為が教育全体の信頼を損なうことを憂慮している。県教育

県の出生率目標
年度内に見直し
本会議、知事答弁
県議会第2回定例会は19日、本会議を開き、かながわ未来の石川裕憲氏（川崎市麻生区）と公明党の亀井貴嗣氏（横須賀市）が代表質問を行った。
＝関連記事19面に
黒岩祐治知事は、2027年度に1.42を目指している県の合計特殊出生率について、国から示される最新の人口データを踏まえた上で本年度中に見直す考えを示した。人口ビジョンの改訂と併せて行うとした。厚生労働省が発表した23年の人口動態統計（概数）によると、県の合計特殊出生率は過去最低の1.13だった。県は市町村と連携して、先進医療に指定される不妊治療の費用補助を新たに始めるなど対策を講じている。知事は「オール神奈川で一丸となって出生率の向上を目指す」と述べた。石川氏への答弁。（中西 悠）
2024年6月20日 神奈川新聞、同社提供、複製禁止

委員会は昨年度、教職員の不祥事が相次いだことを受けて臨時の学校長会議の開催や、コンプライアンスマニュアルの改訂などの対策を講じた。しかし、**これらは教育委員会内部で行われるものであり、外部の目を入れる必要があると考える。また、セクハラに関するアンケート実施回数を増やすことや公的携帯電話の導入など、具体的な校内環境整備を求める。**

教育長 令和3年に「わいせつ事案防止対策有識者会議」の提言に基づき、倫理指針の作成やSNSでの私的連絡禁止などを進めた結果、令和4年度は懲戒処分が減少した。しかし、昨年度は再び増加し、平成18年度以降で最多となったことに危機感を抱いている。今年度からは、総合教育センターでの全研修で不祥事防止メッセージ動画を流すなど、注意喚起を強化している。また、教室の**鍵管理などの環境整備をモデル校で試行予定である。**この取り組みについては、**有識者からの助言を受けつつ、外部の協力を得て実効性を高める方針である。**

石川 モデル校を指定して対策を実証するとしているが、具体的な学校名は未定であり、校内環境整備が「教室の鍵の管理」を徹底することには驚きを感じる。新年度から2カ月以上が経過し、先月発表された県立学校での2023年度セクハラ被害アンケートでは、被害が前年より増加したと報告されている。**本当に危機感を持って取組んでいるのか、早急に具体的な施策を求める。**

その他の質問
・生活困窮者対策
・中小企業支援策の現状と今後の取り組み
・「かながわブランド」のブランド力向上と地産地消推進に向けた取り組みについて
・子育て支援の現状と今後の取り組み
・コロナ禍を経た学校説明会の在り方と学校紹介動画の効果について
など質問しました。
詳しい質問内容はホームページをご覧ください。

活動報告

▶ 麻生区子ども会連合会総会

6月、麻生市民館で開催された「麻生区子ども会連合会総会」に出席しました。「地域で繋がる異年齢の子どもたちが体験活動を通して自立した人間として成長する」という理念のもと、少子化の時代にも関わらず、期待と希望を持って子どもたちの健全育成を目指す活動に強く共感いたしました。子どもたちの元気な声が、地域を明るく照らすことを心から願っています。



► 各中学校体育祭

6月、麻生区の各中学校で開催された体育祭に伺いました。毎年、各学校の体育祭や文化祭にお伺いしていますが、学校ごとに特色や雰囲気異なり、生徒たちの日常や学校の様子を直接感じることができる機会はとても貴重です。体育祭を成功させるために努力を重ねた日々や、協力して作り上げた成果が今後の学校生活をより充実させるものになることを願っています。



▶ 鉄道模型とジオラマの世界

6月、発足から20年の節目を迎えた新百合ヶ丘鉄道模型クラブの皆さまが開催された「鉄道模型とジオラマの世界」に伺いました。ジオラマの中を走る新幹線や小田急ロマンスカーなどを見つめる子どもたちのキラキラした目が印象的でした。今後も区内外でたくさんイベントを計画されているとのこと。多くの方々に楽しんでいただくことを期待しています。



► 全公立展

6月、県内公立高校が一堂に会して行われた学校説明会「全公立展」を視察しました。今年
は約3万3千人が来場し、高校進学を目指す中
学3年生とその保護者の皆さまの学校選びが
始まりました。会場では農業・工業系学校生徒
の実技を交えた紹介や、制服展示や部活動紹介
もあり、学校ごとにさまざまな特色が出ていま
した。今後も進学を目指す皆さんが、自分の夢
や目標に合った学校選びの機会が充実したもの
となるよう尽力して参ります。



▶ 令和 6 年度麻生消防団ポンプ操法大会

6月、麻生水処理センターで開催された「令和6年度麻生消防団ポンプ操法大会」に出席。区内3分団12班が「迅速性やチームワーク」「正確な動作」などを競い合い、日頃の訓練の成果を発揮されました。団員の皆さまは仕事を種災害に対応すべく地域のために練習や防火活動に注力できるよう尽



県政報告(タウンニュース掲載) 2024年5月31日



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市
出身／サラリーマンを約20年経
験／参議院議員政策秘書、衆
議院議員 笠ひろふみ秘書など
経験／麻生区在住

を指摘し続けています。県財政が厳しい中で、今後も具体的な数値を把握し、費用対効果を検証して事業を進めるよう提案を続けてまいります。

未来vol.52
 観光振興・多文化共生・スポーツ
 「文化スポーツ観光常任委員
 会」が報告
 かながわ県政
 神奈川県議会議員（麻生区選
 区）は5月15日より調査する「産業振興特別
 第2回定例会が開催され
 ています。今年度は観光
 産業振興や多文化共生の
 活動支援、スポーツの普
 及振興など約105億円
 の予算審査を行う「文化
 スポーツ観光常任委員
 会」、中小企業・小規模
 企業の活性化、脱炭素社
 会に向けた取組みなどを
 調査する「産業振興特別
 委員会」への所属が決定
 しました。
 ○急増する観光客、
 期待すべき経済効果
 観光産業は、旅行業や
 宿泊業を中心に、土産物
 などの小売店や飲食店、
 農林水産業や製造業、運
 輸業など多岐にわたる産
 業につながりを持つ分野

かながわ未来
県政報告vol.52

観光振興・多文化共生・スポーツ普及など
「文化スポーツ観光常任委員会」に所属決定
神奈川県議会議員（麻生区選出） 石川ひろのり

○中小企業
企業支援
2024
れる「働き

業・小規模
年問題といわ
「方改革法案」

石川ひろのり
ほろのりのご意見・ご要望にお応えに
 24時間いつでもお電話ください
事務所
 麻生区百合丘1-5-4
 米山ビル202
☎044-455-6611
 팩044-455-6614
 石川ひろのり 検索

観光振興・多文化共生・スポーツ普及など「文化スポーツ観光常任委員会」に所属決定

馬頭・街頭活動

麻生区内の各駅にて、皆さまの通勤・通学時間帯を中心に活動報告をお配りしています。毎回多くの皆さまからお声掛けいただき、地域の皆さまからの現場の声をお聞きする貴重な機会となっております。お見かけの際はぜひお受け取りいただき、ご一読いただけたら幸いです。皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください。



石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選（現在3期目）。麻生区在住。引きこもり支援相談士。

趣味：ジョギング（湘南国際マラソン大会・横浜マラソン大会などに出場。自己ベスト記録 3時間29分29秒） 家族：妻、子供一人

好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

▶ 議会レポート、タウンニュースのバックナンバー・
委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧頂けます。



石川ひろのり

檢 索

石川ひろのり
ホームページ



**ボランティア
スタッフ募集**

石川ひろのり事務所では随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。TELまたはHP内お問い合わせよりご連絡をお待ちしております。

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。

石川ひろのり後援会【郵便局】払込取扱票にて（口座番号 00200-7-52777）【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの
ご意見・ご質問をお待ちしております。
FAX 044-455-6614
E-Mail info@hiro-ishikawa.jp

ご意見など

お名前

TEL

ご住所